

最近、磐越西線に特急「あかべこ」が復活し、郡山と会津若松・喜多方方面を結ぶ新たな優等列車として走り始めました。この映像は、その前面展望から川桁駅（かわげたえき）を高速で通過する瞬間を捉えたものです。列車は会津盆地へ向かって快走し、進行方向の正面には雄大な磐梯山が大きく姿を現します。川桁駅付近は、磐越西線の前面展望の中でも特に眺望に優れた区間として知られ、車窓いっぱいに広がる名峰の姿は、多くの鉄道ファンを魅了しています。

現在の川桁駅は静かな無人駅ですが、かつてはここから沼尻鉄道（後の磐梯急行電鉄）が分岐していました。軽便鉄道は沼尻温泉や硫黄鉱山へ延び、温泉客や鉱石輸送で地域を支える重要な交通機関として活躍しました。当時は磐越西線との乗換駅としてにぎわいを見せましたが、昭和43年に廃止され、現在はその面影をわずかに残すのみとなっています。

それでも、この場所を通過する列車の魅力は少しも色あせていません。かつて分岐線が伸びていた歴史に思いをはせながら前方を見ると、視界の先には「会津富士」とも呼ばれる磐梯山が堂々とそびえ立ちます。鉄道の歴史と雄大な自然が一つの車窓に重なるこの景色は、磐越西線ならではの見どころの一つです。新たに復活した特急「あかべこ」の前面展望は、会津へ向かう期待感を高めてくれる、実に印象的な映像となっています。

（2026年7月下旬／磐越西線川桁駅）

